

## 再生可能エネルギーのリスクを補填するドイツ再保険会社

新エネルギー・国際協力支援 ユニット  
新エネルギーグループ 研究主幹  
佐々木誠之介

再保険会社として著名なドイツの Munich Re 社(ミュンヘン再保険)が、保険ブローカーであり、リスクコンサルタントとしての事業も行っている Marsh 社と協力して、地熱(ミュンヘン付近の Taufkirchen)の探査リスクを引き受ける契約をした(The Financial 7 月 4 日)。

同社は、2009 年にドイツ環境省、KfW Bankengruppe(ドイツ復興金融公庫)との共同ワークで、ドイツにおける地熱発電を拡大するため、総額 6 千万ユーロ規模の融資プログラムを開始している。もし十分な地熱資源が発見されずプロジェクトが失敗に終わった場合、投資家は融資残高を返済しなくてもよい。各々の深部地熱開発プロジェクトに対する生産リスク、および融資の対象に値するかどうかについては、融資の承認前に審査される。

Munich Re 社の再生可能エネルギーに対するリスク保険関連活動の動きとして例を挙げるならば、

2011年4月 フランスで初めて太陽電池向けの性能保証保険を提供

2009年9月 薄膜型太陽電池メーカーのNexPower(台湾)にアジア初の性能保証保険を提供

2009年7月 デザートテックプロジェクトにドイツ企業12社の一社として参加

更に、Munich Re 社は風力発電機メーカーであるファレンダー社に、世界で初めて風力発電向けの性能保証保険を提供している。ファレンダー社は風力発電機を顧客に販売する際、保守サービスとして 5 年間の技術保証を提供している。この期間中に故障が発生しメーカー保証履行義務が生じた場合、Munich Re 社は、同メーカーが抱える財務リスクを補償する。こうしたことで、メーカーの事業経営が円滑になり、経営資源をマーケットシェア拡大に集約できる。さらに同保険の付保(5 年間契約)により、メーカーは安全な投融資先として銀行などに対する信用力が高まるというポートフォリオ部分の新しいビジネスモデルの一つとも言える。

Munich Re社は性能保証保険の契約にあたり、メーカーの開発・製造・管理プロセスに対する徹底的な調査を実施した。2009年に業界で初めて太陽電池向けに性能保証保険を提供して以来、同社はこの種の保険の開発・提供としては業界のパイオニア的存在ともいえ、再生可能エネルギー分野で多くの専門的ノウハウを蓄積しながら同分野特有のリスクの引き受けに役立っている。

以上の如く、同社は再生可能エネルギーに対する保険補填の数多くのメニューを提供しており、再生可能エネルギー関連リスクを、革新的な保険で補償することで、メーカーの事業活動の円滑化、

投融资の促進、新技術の市場参入に大きく貢献している。

現在、国会審議されている再生可能電力の全量買取制度法案が成立すれば、日本でも地熱発電やメガソーラーなど、事業リスクの大きな案件も進展してこよう。ミュンヘン再保険のようなリスク管理サービスに大きな役割が期待される。

以上

お問い合わせ: [report@tky.ieej.or.jp](mailto:report@tky.ieej.or.jp)